

しよれと

Palette

12

2023 December
vol.280

特集 「営農振興計画」のあゆみ

農を担う
米麦農家 狩山 敦生 さん
興除地区…… 16ページ

今月の折り込み 2023年12月号カタログショッピングチラシ ほか

FEATURE

— 今月の特集 —

高松営農センター

いにしえ

基本
テーマ

古の里。伝統・技術を守り、
次世代へつなげよう。

基本テーマについて

高松営農センター管内は、清水白桃をはじめとした「もも」や「温室ぶどう」の主要産地であり、約130年以上の栽培の歴史を誇り、岡山県を代表する農産物として全国に知られています。

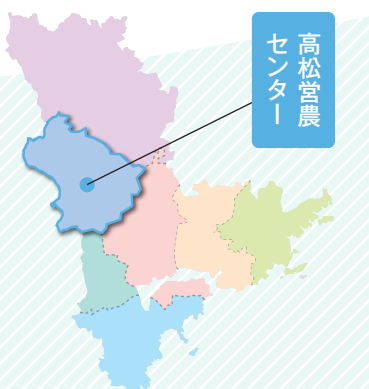
また、稲作や有機野菜、花き、メロン、夏秋ナス栽培なども盛んに行われていますが、農業者の高齢化や耕作放棄地の増加などが問題となっています。新規就農者の確保と募集体制を整え、農業の次世代への継承を目指します。

首都圏市場に向けた「〇ブランドもも」の販売強化と認知度向上

白桃の首都圏市場出荷拡大に向け、「〇ブランドもも」の販売強化・認知度向上を目指し、早生から晩生品種までの計画出荷に向けた体制づくりに努めました。また、当センターは本所や行政機関と連携し、首都圏の需要の状況を把握し、地元産地とのマッチングを図るため、量販店での販売促進イベントを実施しました。

新規就農者および栽培者の確保とサポート

新規就農者および新規栽培者については、計4名の生産者を



高松営農
センター



確保し、就農支援、販売手続きのサポート、施設および設備の導入にも取り組みました。(ブドウ・1名、花き・1名、有機無農薬野菜・1名、メロン・1名)

また、令和5年度は就農促進トータルサポート事業を活用し、4名3組のモモの農業実務研修生を確保しました。園地の確保が緊急の課題でしたが、農地中間管理機構や農業委員会などの関係機関と協力し、候補地に関する情報交換を行い、条件の良い園地を確保することができました。



水稲生産における試験栽培と環境保全の取り組み

基幹作物である水稲については、「にこまる」の試験栽培を3カ所で行い、安定した多収量技術の普及に取り組みしました。

また、化学肥料価格が高騰する中、環境保全型農業「化学肥料使用量の軽減」に取り組むため、緑肥散布により、次年度の水稲栽培において無肥料栽培が可能かどうかの検証を行っています。



2年目につなぐセンター長の思い

近年、生産者の高齢化や後継者不足が深刻化し、耕作放棄地の増加とともに栽培面積や生産量の減少など多くの課題に直面しています。

高松センターでは「もも」「温室ぶどう」の生産が盛んですが、単一果樹経営の規模が小さく、経営者のリタイアに伴い農業経営を中止するケースが増加しています。さらに、肥料、燃料、出荷資材等の高騰により生産者の負担が増えており、経費が増加しても農業所得がそれを上回って増えないことには、離農や新規就農者の減少につながりかねません。

このような状況に対処するため、新規就農者の受け入れ体制の強化、後継者の確保と育成、産地規模の維持・拡大、園地の基盤整備や集積・集約化、省力機械の導入などの対策を進め、農家が安心して農業経営できる1畝以上の「もも」専作農家の一定数確保を目指します。

また、今年度から「JA岡山温室ぶどう部会」が発足し、岡山県温室園芸農業協同組合の事業を引き継ぎ、73年にわたる歴史ある〇ブランドの伝統を守りながら、岡山県を代表する「温室ぶどう」の高品質な安定出荷を実現するために、生産部会、関連機関、本所と連携して取り組みます。

作物の栽培や有利販売における高単価での取引だけではなく、生産者が農業経営を継続できるように、収益の安定と向上、作業コストの管理、持続可能な農業ができるようセンター一丸となって取り組んでいきます。



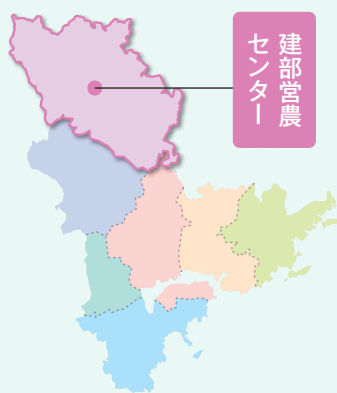
氏名: 山本英樹

趣味: 料理 好物: クリームコロッケ、海ブドウ
座右の銘: 行雲流水 (こううんりゅうすい)

建部営農センター

基本
テーマ

花野果で魅力ある農業の実現を



建部営農
センター

基本テーマについて

建部営農センターは、「花野果で魅力ある農業の実現を」を旗印に、新規就農者や定年帰農者などの担い手を受け入れ、中山間地域の豊かな環境を活かしてブランド力を高め、農業生産の拡大と所得増大を図り、魅力ある農業を目指します。

選果効率の向上と出荷拡大

加茂川地区のブドウの生産拡大に伴う出荷量の増加と、品種の多様化を受け、令和2年度の産地パワーアップ事業（国庫）を活用し、選果場を改修しました。

これまでは岡山市場中心の出荷体系でしたが、産地規模拡大に伴う出荷量増を契機に東京や横浜など首都圏市場へ出荷先を拡大し、さらに昨年から出荷量の増加に備えて関西市場への出荷を開始し、関東・関西の大都市圏への出荷を行っています。

また、長期連続出荷ができる鮮度維持装置を導入し、10月に収穫したシャインマスカットを在庫し、低温管理のもと2カ月間保存した後、12月のクリスマスや年末需要に向けて関東・関西市場中心に出荷をします。

水田を活用した契約野菜の栽培について

大型農家向けに水田を活用した契約野菜栽培に向けて、キャ



2年目につなぐセンター長の思い

近年では、農業者の高齢化、後継者不足による耕作放棄地増加、栽培面積の減少、鳥獣被害、資材・燃油の高騰により農業経営を行うことが非常に困難な状況に差し掛かっています。

建部営農センター管内では、生産部会組織の主要品目の栽培面積を拡大し、新規就農者への支援等の取り組みとして、講習会やほ場の巡回指導を関係機関と連携して行い、産地全体で技術レベルの向上を目指しています。

各部会において新品種の作付試験を実施し消費者ニーズにあったもの、かつ安定的に出荷が可能な産地の土壌や気候に適した品種の選定を行いました。

鳥獣被害対策として当組合の「営農振興支援事業」で電気柵・金網フェンスなどの普及支援に努めています。行政機関と協力し鳥獣被害から産地を守り続けたいと思います。今後もTAC指導員を中心に営農指導の強化とレベルの底上げを図り、JA職員が生産者に出向き、農家所得の向上と地域の活性化に努めていきます。



氏名: 二垣正義

趣味: 映画鑑賞 好物: 甘味
座右の銘: 早起きは三文の徳

ベツやタマネギなどの作付普及を促進しています。生産面積拡大に伴う作業負担の増加や収穫時期の集中などが懸念されましたが、JAが斡旋する「一日農業バイト」を活用することで、作業時間の短縮と、計画的な収穫が可能となり、品質と収量の向上につながりました。

また、契約キャベツについては、近年、異常気象、厳寒期の低温による品質低下が問題となっており、年内に収穫できる品種への転換を行い、出荷品質の向上に努めました。

生産部会の維持拡大とブランド力の強化

高品質の農産物を安定的に出荷できるように、関係機関と連携を強化し、定期的に講習会やほ場巡回を実施しました。また、TAC指導員は生産部会に対して、有望品種の提案や品質向上のための生産資材等を提案し、近年の気象状況に対応した栽培指導を行っています。

産地ブランドの維持については、産地の栽培基準を遵守した栽培管理と出荷規格の統一を図ることが必要です。各生産部会の出荷前には、市場関係者を招いた目揃え会を開催し、情報共有を行うことで、出荷基準の明確化とともに信頼される農産物出荷に取り組みます。

楽しい家庭園芸

2023.12

お問い合わせ先
営農部指導課
Tel.086(225)3224

野菜

寒さに気をつけ、畑を管理しましょう



営農部指導課 祇園 将人

12月になるとだんだん寒さが厳しくなり本格的な冬を迎えます。寒さにより風邪をひくなど体調を崩さないように楽しみながら畑の管理を行いましょう。

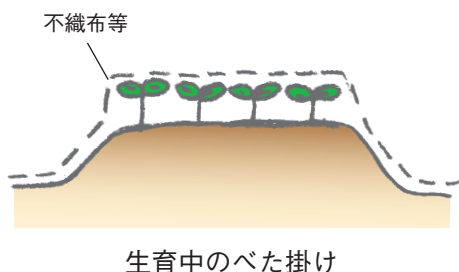
●収穫後の畑の管理について

収穫が終わってそのままになっていないでしょうか？収穫が終わりと作物の残渣がそのまま残っていると病害虫の発生源になります。今秋も秋作野菜等を食害してきた虫の多くは気温の低下により減少しますが、残渣の中で越冬する場合があります。病気の菌も残るので、収穫が終わると早めに軽微なものなら畑にすぎ込んだり、畑の外へ持ち出すか穴を掘って埋めるなど処分しましょう。

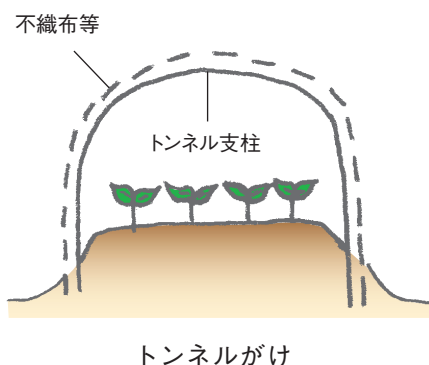
●土づくりについて

よい農作物はよい土から生産され

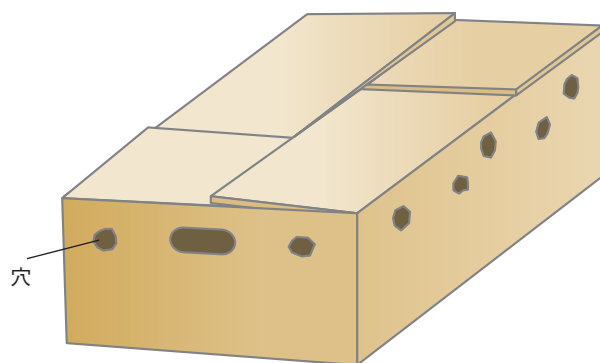
資料1 被覆資材等による防寒・保温



資料2 被覆資材等による防寒・保温



資料3 サツマイモの貯蔵方法



側面上部に穴を開けて通気を確保する

●厳寒期の被覆資材

冬でも農作物を生育・収穫するためにはハウレンソウのような葉物野菜等では被覆資材が必要です。簡易

ます。硬い土（重たい土）、水はけの悪い場所がある場合には、土づくりを行いましょう。
土を柔らかく、水はけのよい土壌にするためには、堆肥や腐葉土などを施用して畑の土を通常より深く掘り起こし、混ぜ込んで埋め戻します。この作業を行うことで作土が深くなり、柔らかい有機物を施用したこと、通気性が向上し水はけがよく柔らかい土になります。ただし、一度だけでは飛躍的に柔らかく水はけのよい土壌にならないので数年行う必要があります。重労働ですが頑張ります。

●サツマイモの貯蔵方法

サツマイモを貯蔵していたら年明けに腐ってしまった、という話をよく聞きます。サツマイモは温度が低くなりすぎると腐敗してしまいます。

なものなら不織布（パオパオ・パスライト）のべた掛けがあります（資料1）。不織布は光を約90%通し、通気性があるため風を通し水も通るので換気等の必要はありませんが、風などで擦れて葉が傷む場合があるので支柱があればトンネル型にしましょう（資料2）。不織布の代わりはビニールを使用すると保温性に優れますが、ビニールでは温度が上がりすぎると換気作業が必要になります。年内に収穫が終わるような作物は不織布、1〜2月に収穫するようなのはビニールで被覆するようにしましょう。

少量作って年内に食べてしまう場合には洗ったものを貯蔵しておけばいいですが年を越して貯蔵する場合は水洗いせず泥を軽く落とす状態で貯蔵します。量が多く、納屋で貯蔵する場合にはコンテナに7分詰めにし、その上に毛布等を掛けて貯蔵します。ただし、サツマイモが少量の場合は室内で乾いた新聞紙にくるんで穴を開けた段ボール箱（資料3）に7分詰めしてふたをして貯蔵しましょう。サツマイモが蒸れて汗をかくと腐敗の原因になるので満杯詰めやビニール袋に入れるのは厳禁です。サツマイモの保存適温は13〜15℃です。5度以下になると低温により腐り始めます。暖かい所を選んで置きましょう。

花き

冬の鉢花の代表2種



営農部指導課 中川 雄一

岡山でも生産され、多くの家庭によくある代表的な鉢花といえば、洋ランとシクラメン。洋ランの中からデンドロビウムとシクラメンの冬の扱い方です。

●デンドロビウム（フビル系）
まず、デンドロビウムの花言葉は「思いやり」「わがままな美人」など、種類や色別にさまざまなものがあり、ノビル系は「謹厳実直」。

・デンドロビウムは春開花します。
冬の間は休眠期にあたります。ここが大事なポイントです。店頭では初冬から開花株を販売していますが、これは生産者が早く咲くように管理した結果です。

本来は、春から夏の間に新しいバルブ（太い茎のような部分）を伸ばして充実させ、冬の低温（低すぎると傷みます）に遭うことで花芽を作り、それが成長し、暖かくなりだしてから開花します。そのため、購入した開花株と自分で管理した2年目以降の株では少し冬の扱いが違います。

・2年目以降の株
夏は戸外の半日陰で管理し、晩秋6〜7℃の気温に10日程度遭ってから室内に入れます。その室内も明け方がそれくらいの気温になるやや涼しいところが適します。そうすることで花芽が分化・発達します。

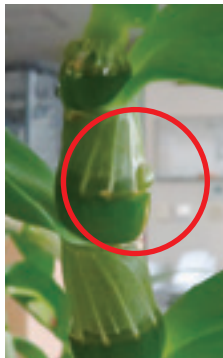
日照は好みますから、冬は屋内の直射光があたって日中高温になるとか、窓際で夜間低温になり過ぎたりしないように、窓ガラスのすぐそばは避けましょう。

休眠期ですから、水やりはかなり間隔をあけ、7〜10日に1回くらいでも大丈夫です。購入したままの化粧鉢やプラ鉢ではなおさら通気が悪いので乾きにくく、培地の表面が乾いて見えても、スポツと抜いてみるといくら湿りを保っています。また、デンドロビウムはバルブに養分や水分を保持しているの、すぐに水切れにはなりません。むしろ頻繁にやり過ぎると根を傷めます。通気が大切です。水やり後に受け皿に出た水は必ず捨てておきます。また、水やりは暖かい日の午前中にしましょう。

水やり間隔が長すぎて忘れてしまふとバルブにしわが入り始めるなどのダメージがありますから、いき過ぎには注意しましょう。

資料4 デンドロビウムの花芽

左：膨らみ始めた花芽 右：先端だけ出蕾



・赤い円の中心に花芽が膨らみ始めました
・先端だけ蕾が付いたバルブ このバルブのほかの節からは来年開花します



ブクツと膨らみができ、次第に生長し、やがて蕾になります（資料4）。乾燥しすぎるとその発達にも影響します。休眠期は肥料も不要です。

・購入した開花株
涼しく明るい場所の条件は同じですが、あまり日あたりのよいところでは花の寿命が短くなるようです。開花後、花が傷み始めたら、花の部分だけ摘み取ります。開花後のバルブも大切な器官です、黄色く萎れるまで数年は切り取らないように。

●シクラメン
置き場所は、デンドロビウム同様に日あたりよく涼しい（20℃以上にならない）ところです。

原産地では、雨期に開花し、乾季には休眠します。原産地の涼しい雨季は、日本では冬にあたり、シクラメンは秋から春の開花期が生育期になります。

資料5 デンドロビウムの新旧のバルブ、盛んに伸びた気根

葉が付いた新バルブには来春花が咲きます
その両脇の緑色のバルブは葉がないけれど残します
黄色くしわが入ったバルブは切り取っても大丈夫



空気が大好きな根が元気に鉢からはみだします
これも大切にしましょう

資料6 9月、シクラメン2年生株に伸びてきた葉(右)とつぼみ(左)



葉は芽の中心に、蕾は外にうつむいて1対で出ます
水切れすると、この葉が残っても、蕾だけ枯れてしまうことがあります

2年目以降の株で初夏から休眠させていた場合は、休眠期が終わって生育し始める8月下旬ごろが植え替えの適期でもあり、そのころから水やりや施肥を始めます。
休眠せずにかろうじて緑の葉が出ていた株も、このころになると生育が旺盛になり、吸水量もぐんと増えます。現在は底面給水の鉢がほとんどですが、水の減り方もよくわかり、そのペースに合わせて量や頻度を調整します。（植え替えた場合、最初の水やりは上からタツプリ、底に抜けるまでやります。それをしないと、根と土がなじまず、その後の吸水がうまくできません。）肥料は受け皿に入られる緩効性の化成肥料がありますから、生育期は月1回くらいの間隔で入れます。水切れ・シクラメンがいったん水切れしても、萎れているときにしっかりと水を吸わせたら復活すると思っっている人は多いと思います。確かに葉は立ち直りますが、多くの花芽がその影響で枯れ、咲かなくなりますのでご注意ください（資料6）。

果樹

せん定についてご説明します



営農部指導課 武田 祐一

今年もはやいもので12月がやってきました。果樹は落葉後にある程度、寒さに遭わせてからせん定を行うことが大切です。せん定した時に切り口から樹液がにじむような場合は、せん定期が早いので遅らせてあげましょう。

●果樹のせん定

●果樹のせん定期と目的
落葉果樹は、12月からせん定の時期に入ります。せん定期は果樹の品目により多少異なります。一般的には発芽の早い梅は年内〜1月中旬に行いま

す。発芽の遅い西洋イチジクは寒さの和らぐ3月に入ってから行います。せん定の目的は着果量を制限して毎年コンスタントに果実を結実させることが大きな目的となります。もう一つは樹勢を維持し、作業しやすい樹形にすることです。後は品目の結果習性（花芽・葉芽等のつき方）に基づいたせん定で結実の安定と着果量の調節を行い、大きくておいしい果実を生産しましょう。

●果樹の整枝・せん定

整枝・せん定をしないで自然に枝を伸ばすと、樹形が乱れるうえに枝が込みあって日陰になった枝が枯れたり、果実の甘味や結実が悪くなったり、防除の散布ムラ及び病害虫の発生源や摘果・袋掛け・収穫等の作業管理が困難になるなど樹の維持管理が難しくなります。そうなる前に樹を開心自然形や杯形状などに開かせたり、凹凸をつけるように整枝・

●切り返しせん定と間引きせん定
せん定は切り返しせん定と間引きせん定を組み合わせて行います。樹に勢いをつけたい時は枝の途中で切る方法の切り返しせん定をして、逆に樹を落ち着かせたい時は枝を根元から切る方法の間引きせん定をします（資料9）。

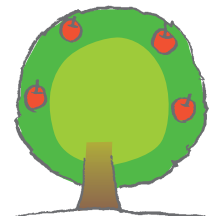
●せん定の注意
①車枝（同じ勢力の三又は真ん中が弱る）や重なり枝、平行枝、徒長枝、内向枝などを確認し、状態に応じてせん定していきます。
②側枝が下垂したら、適度な横向きの位置まで切り返します（資料8）。
③太くなった枝や徒長枝は根元から。

●結果習性
桃・スモモ・梅等の核果類は複合芽で前年枝に花芽と葉芽が分かれて着き、花芽の位置が容易に確認できます。

しかし、柿・梨・ブドウ・キウイ・栗などは混合芽なので、前年枝に花芽と葉芽が1芽の中に混在し、枝が伸長した当年枝にならないと花芽が確認できません。また、混合芽は果樹の種類によって前年枝に着く花芽の位置が異なるので、花芽が前年枝のどの位置に着生するのかを把握し、せん定の前に必ず花芽を確認しておきましょう（資料10）。

資料7 樹表面の凹凸で日当りをよく

実のなるところが少ない



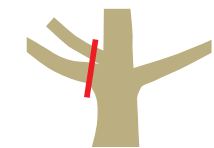
高い位置しか実がならない



おいしい実がよくなり始めた低い位置に果実ができたので管理がしやすい

資料8 せん定の注意

○車枝



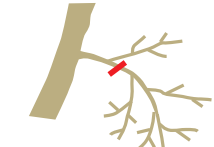
○重なり枝



○平行枝



○下垂枝

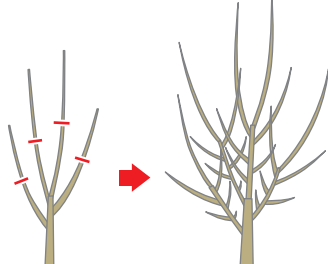


資料9 切り返しせん定と間引きせん定

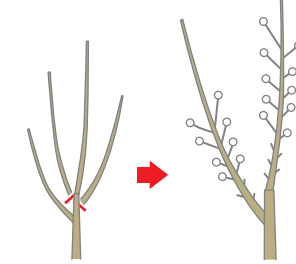
芽の種類と結果枝の分類

切り返しせん定

間引きせん定



栄養生長促進・生殖生長抑制
→弱勢樹、老木は樹勢が強くなる



栄養生長抑制・生殖生長促進
→弱勢樹、若木は樹勢が落ち着く

資料10 品目別の花芽と葉芽の付き方

品目	芽の形態	花芽の着生部位	果実の着生枝	よく結実する枝(果枝)	陰芽の発生	樹の姿
桃	花芽、葉芽が分かれる	前年枝の頂芽と腋芽	前年枝	中、短	少	開
梅				短	多	
スモモ				短、花束状短果枝	中、少	
黄桃	花芽と葉芽が1芽に混在	頂芽と腋芽	当年枝	長、中、短	中、多	直
日本梨				中、短	中	
西洋梨				—	少	
リンゴ				中、長	多	
ブドウ				長	中	
柿				中、長	中	
キウイ				長	中	
栗				中、長	中、多	開
イチジク				1.5m程度	—	

注:短は10cm以下、中は10〜30cm、長は30〜50cm



この時が一番ワクワクすると稲を刈る狩山さん

— 就農したきっかけは

父が2畝で米麦農業をしていました。兼業農家でしたので、子どもたちから土曜、日曜日になると、いつも手伝っていて身近に農業がありました。父と一緒に農作業をしていると楽しくて、この仕事をずっとできたらいいなと思っていました。高校を卒業する頃、すぐ就農しようと思いましたが、機械にも興味があったので、農機具の会社に就職しました。そこで、修理やメンテナンスについて

— こだわりのことについて

ほ場をきれいに管理することで、雑草の処理や、畔の整備は常

「自分でやってやるぞ」と就農した年が、ちょうどコロナの渦中で、米作り自体は楽しくて問題はなかったのですが、米価が下落していることで経営のことを考えると不安になりました。

今年、就農して2年目になり、現在は一人で作業しており、水稲が11畝で「にこまる」「アケボノ」「山田錦」の3品種、麦10畝を作付けしています。品種ごとに生育が違うので、作業適期の分散を図り効率よくできるように気を付けてながら頑張っています。

また、離れたほ場が増えてきたので、地図情報システムを活用してほ場を管理し、品質や収量のデータを参考に来年の作付けを計画しています。

— 農業を始めてからは

「自分がやってやるぞ」と就農した年が、ちょうどコロナの渦中で、米作り自体は楽しくて問題はなかったのですが、米価が下落していることで経営のことを考えると不安になりました。

今年、就農して2年目になり、現在は一人で作業しており、水稲が11畝で「にこまる」「アケボノ」「山田錦」の3品種、麦10畝を作付けしています。品種ごとに生育が違うので、作業適期の分散を図り効率よくできるように気を付けてながら頑張っています。

学び、21歳の時に会社を辞めて就農しました。

農業が楽しい。力強い仲間がいる。
循環型農業を実現したい。

農
を担う
vol.280

狩山 敦生さん

興除地区：米麦農家

「かりやま あつき」

平成11年生まれ。興除新農業経営者クラブ所属。趣味は、バレーボール。座右の銘は「結果は追いつめて、初めてついてくる」。



に心がけています。特に、粃を扱う機械はいつもきれいにしています。消費者の方には直接見えないところですが、機械の掃除を徹底し、清潔に保つことで、消費者には見えない質の良さをお届けできるよう気持ちを込めて取り組んでいます。

求めることに応えたい

— 今後の抱負は

まず、一人でできる最大範囲まで面積を拡大したいです。その中で作業の分散を図り、畜産関係の餌になる、WCSや飼料用トウモロコシの栽培にも挑戦してみたいと思っています。耕畜連携を図って安定した循環型農業を実現したいです。

また、消費者が求めることにしっかり応えられるように、興除新農業経営者クラブの仲間達と一緒にこの地区を盛り上げていきます。

聞き手：JA岡山広報担当



センター職員と成育状況を確認する狩山さん



農業への熱量は負けないつもりです



野菜って美味しい! が実感できる

丸ごと茄子がとろける ぶちうまオープン焼き

■材料 (2人分)

なす	4本
トマト	2個
青じそ	12枚
とろけるチーズ(スライス)	6枚
豚バラ肉(スライス)	300g
パセリ	適量
パン粉	適量
粉チーズ	適量
オリーブオイル	適量
塩・こしょう	各適量
にんにく(すりおろし)	適量

- ①豚バラ肉は4cmの長さに切って塩、こしょうをしておく。青じそとチーズは半分に取り、トマトは縦半分に切って半月切りにする。
- ②なすを縦半分に切って、それぞれ切り込みを入れたら、間に①をはさむ。
- ③②にんにくを塗って塩、こしょうをし、上からパン粉と刻みパセリ、粉チーズを混ぜ合わせたものをたっぷりとのせる。
- ④③にオリーブオイルをかけ、200℃に余熱したオーブンで約20分焼いたら完成。



インフルエンサー
青髪のテツ

青髪のテツ × JAグループ 「国消国産」レシピコンテスト

すべての
入賞レシピの
詳細はこちらに
アクセス!

○概要

- ・JAグループ主催で、青髪のテツ氏(※)とタッグを組み実施。
- ・「野菜たっぷり!スピードおかず部門」、「白米がモリモリ進む!かんたん丼部門」、「ミルク系スイーツ部門」の3部門で募集。
- ・2023年5月18日～7月18日の間で、合計287レシピが応募。

こくしょうこくさん

○「国消国産」とは?

「私たちの国で消費する食べものは、できるだけこの国で生産する」という、JAグループが提起している考え方です。国産農畜産物をおいしいレシピでたくさん食べてほしいという願いから、当コンテストも開催しました。

※スーパーマーケット青果部で動めた経験を生かし、野菜の選び方などで人気を博すインフルエンサーで、Xフォロワー約66万人(8月31日時点)。



うしまろび 「牛転」伝説

今回のあぐろグラムでは、瀬戸内市牛窓町の「牛窓」の由来について紹介します。

「備前風土記逸文」に、神功皇后が三韓征伐の道中、船で海を渡っていた時に大きな牛鬼が現れたが、それを老人に化けた住吉明神が角をつかみ海へ投げ倒したという伝説が記されており、この場所を牛が転んだところ「牛転」(うしまろび)といい、それがなまって牛窓(うしまど)になったといわれています。

さらに牛鬼が減った後に、牛窓海水浴場の横の表参道の長い石段を登った先に鎮座する『牛窓神社』の眼下に広がる前島・黒島などの島々となったとも語り継がれているようです。

編集担当 弘末 彩香



各種媒体で情報発信



オンラインショップ
はなやか
オンライン



Instagram

